

さわやかだより

“9月は世界アルツハイマー月間”

もっと知ろう もっと語ろう 認知症



9月21日は
世界アルツハイマーデー

9.21
WORLD
ALZHEIMER'S
DAY
30th



認知症になっても安心して暮らせる社会を

他人事から自分事に

2025年には、65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると見込まれ、その数は700万人と推計されています。洞爺湖町の65歳以上の人口は令和5年4月末で3,496人。そこから推計される認知症になると見込まれる人数は約700人になります。

誰もが認知症を自分事としてとらえ、認知症を知り、備え、人とつながることが大切です。

知る 認知症についての正しい知識を得ましょう。認知症の早い気づきや受診、適切な対応につながります。

備える 生活習慣病の予防をしたり、趣味などを楽しんだりしましょう。家族に自分の意思を伝えておくことも大切です。

つながる 人との交流を心がけ、自分や家族だけで、悩みを抱え込まないようにしましょう。

世界アルツハイマー月間 世界アルツハイマーデー

国際アルツハイマー病協会は、世界保健機構と共同で9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、9月を世界アルツハイマー月間として様々な活動を行っています。日本では「認知症のひとと家族の会」が中心となり、全国各地で啓発活動を行っています。



安心して暮らすためのヒント

認知症の人や
家族が

当会では、当事者ならではの視点で、様々な認知症に関する冊子やパンフレットを作成しています。



ダウンロードはこちらから
https://www.alzheimer.or.jp/?page_id=58391



メールマガジン配信 2023年7月スタート!

認知症を知って、備えて、つながる、無料のメルマガをお届けします。

お申し込みはこちらから



※公益社団法人認知症と家族の会 世界アルツハイマー月間 2023 リーフレットより抜粋

問合せ 健康福祉センター(☎76-4006)・地域包括支援センター(☎76-4822)